

■ 適応床材

ビニル床タイル、ビニル床シート
（メッシュバック長尺シート等の裏面が平滑でないものを除く）

■ 施工手順

1. 下地状態の確認

- ①下地の床材に浮き、剥がれがある場合は、すべて取り除き、「アースタック」で埋めて平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。フローリングに凹みや大きな目地がある場合は、「アースタック」で埋めて平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。
- ②下地の床材やフローリングにワックスが塗布されている場合は、ワックス用剥離剤で除去し、乾燥させる。脂分などの汚れがある場合は、洗剤などで除去し、乾燥させる。
- ③下地の床材の表面の凹凸が大きい場合は、「アースコート 60」や「リフォームシール」を床材面に全面塗布し平滑にした後、完全に硬化・乾燥させる。

2. 床材の張り付け

- ①水性系粘着型接着剤「プラゾールTR-重ね張り用」を、添付の専用クシ目ゴテを使用して下地に塗布し、接着剤が乾燥して、ほぼ透明になるまで待ち時間をとる（待ち時間の目安：約60分〔非吸水性下地、20℃〕）
- ②床材を張り付け、必ず張付け可能時間内にローラー等を掛け、床材と接着剤を十分に馴染ませる。（張付け可能時間の目安：接着剤乾燥後～乾燥後約240分〔20℃〕）
- ③床材張り付け後、24時間程度は極力人通りを避けると共に、1週間程度は直射日光や急激な空調の使用は避け、換気をよくして養生する。



※備考

- (1) 床材及び接着剤は、極力前日までに搬入し、施工環境に慣らしておいてください。
- (2) 施工するビニル床タイルは、反りが生じないように、平滑な場所で保管してください。ビニル床シートなどを施工する場合は、施工に先立ち、巻癖、伸縮を取り除くため、仮敷きを行ってください。
- (3) 冬季低温時（5℃以下）の施工は、ジェットヒーターで採暖を取るなどして施工を行ってください。
- (4) 床材張り付け時に、床材を強く圧着するとずらしや剥がしが困難になりますので、圧着は床材の位置が決まってから行ってください。
- (5) 施工後、急激な温度変化が生じると、床材が伸縮し、目透きや突き上がり、反りが発生し易いのでご注意ください。
- (6) 床材張り付け後、床材に適した継ぎ目処理などを行ってください。

■ 使用商品（施工㎡数）

●アースタック

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
293-701	5kg(×4)	5㎡/5kg (1mm厚)



●アースコート 60

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
293-801	4.5kg(×4)	5㎡/4.5kg (1mm厚)



●プラゾールTR-重ね張り用

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
283-264	15kg	約75㎡/15kg
283-263	7kg	約35㎡/7kg



■ 注意事項

- ①床材の種類によっては、接着しにくいものもありますので、事前に試験施工をして確認された上で本施工を行ってください。
- ②「プラゾール-TR重ね張り用」は接着剤を乾燥させてから床材を張り合わせる特性上、従来の水性系接着剤と比較して待ち時間が長くなります。一方で、長い張付け可能時間をとれますので、温度が低い場合や湿度が高い場合には、採暖や送風等による強制乾燥により効果的に待ち時間を短縮することができます。
- ③重ね張りする床材より下地の床材が柔軟で沈み込みが激しい場合は、床材やその継ぎ目に割れや剥がれ、目地段差等が発生する恐れがあるため、施工には適しません。
- ④下地の床材に浮き、剥がれ、ひび割れがある場合、下地の強度不足、湿気の影響、下地が動いているなど、下地そのものが原因の場合もあるのでご注意ください。
- ⑤使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項などを必ずお読みいただき、十分にご理解頂いた上でご使用ください。尚、製品の取り扱いに関する詳細が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照ください。